

会議要録

会議の名称	平成23年度 第3回文化財保護委員会
日 時	平成24年3月26日（月） 13：30～
場 所	和光市役所 4階 研修室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】9名中、7名が出席 田中明、副島元子、後藤友子、矢崎康彦、小田部玲子、森朋久、鈴木敏弘 ※欠席者：2名 富岡進、鈴木夕季 【事務局】 大久保昭男（教育長）、富澤勝広（教育部長）、星野裕司（生涯学習課長）、 亀井義和（生涯学習課課長補佐）、鈴木一郎（文化財保護担当統括主査）、 中岡貴裕（文化財保護担当）、渡辺潤（文化財保護担当）
傍聴者	2名

1 開会

事務局から次の事項を確認。

- ①本日の会議は公開である。
- ②会議録は要点記録とし、作成後公開する。

2 教育長あいさつ

3 文化財保護委員会委員長あいさつ

4 新規委員の紹介

今年度から新たに文化財保護委員に委嘱された鈴木敏弘委員が前回の会議で欠席だったため、改めて自己紹介。

5 協議・報告

（1）平成23年度事業報告及び24年度事業予定について

<生涯学習課より説明>

- ・生涯学習課より、別紙資料等に沿って概要説明。

<質疑・意見>

- ・特になし。

（2）和光市デジタルミュージアムについて

<生涯学習課より説明>

デジタルミュージアム構築事業は、平成23年度中にシステムの構築を行い、平成24年4月1日に一般公開を目指すものとして、現在に至るまで実施してきた。

平成 24 年 4 月 1 日の公開に先駆けて、文化財保護委員会委員の各位にお示しするので、ご意見があればいただきたい。

⇒画面を見ながらこれまで構築してきた和光市デジタルミュージアムを説明。

- ・「和光市の歴史」は、本の 1 ページのようなイメージで作成。
- ・「みちくさ歴史マップ」は、市内の高校生に協力していただき、動画によって和光市の歴史や見所を案内するページとし、動画公開には YouTube を利用した。
- ・「和光市の文化人」は、清水かつら、大石真の紹介とし、それぞれ古い写真や合唱、朗読などを盛り込んだページとした。
- ・「古地図から和光をながめてみよう」は、明治期の迅速測図を加工したものや、古い空中写真撮影したものを公開するものとした。
- ・「ダウンロード」のコーナーは、和光市史の上巻、下巻、民俗編の無料ダウンロードと、和光市指定文化財旧富岡家住宅のペーパークラフトをダウンロードできるものとした。

＜質疑・意見＞

- ・全てを閲覧する場合、時間はどの程度かかるか。
→すべてを閲覧するとなると、2～3 時間程度はかかるのではないかとと思われる。
- ・いつから公開か。
→予定どおり、平成 24 年 4 月 1 日から公開する。
- ・アクセスカウンターはつけないのか。
→アクセス数を把握する方法があるので、画面上に掲載するかどうかは検討する。
- ・収蔵資料データベースはどのようなになっているか。また、今後新たな資料が追加される場合、事務局で追加することは可能なのか。
→収蔵資料データベースは、資料が多いため現在適宜入力作業を行っている最中である。また、新たな資料の追加を含め、ページの更新作業は事務局でできる仕様としている。
- ・考古資料は、新しいものの追加が必要。予算措置を含め、継続的に資料を増やせる必要がある。
→事務局で更新作業が可能となるので、適宜追加するようにしたい。

(3) 午王山遺跡について

＜事務局から説明＞

午王山遺跡については、これまでも文化財保護委員会の中でご意見をいただいていた。

平成 22 年度に市で購入した土地については、保存目的の範囲内容確認調査を実施し、第 2 次調査で確認していた 3 軒の住居跡と、新たに 3 軒の住居跡、土坑 2 基を確認した。いずれも保存目的の確認調査であるため、遺構の掘り下げは行っていない。

また、平成 23 年度に午王山の土地の一部について、地権者と土地の借り上げ契約を締結した。市有地と借上げた土地については、当面の間芝生・花苗等を植えて整備するものと

し、平成 24 年 3 月中に市民団体新倉午王山の会に協力していただき、一緒に植栽する予定である。

午王山遺跡は生涯学習課としては市内でも重要な遺跡と認識しているため、平成 24 年度の和光市文化財保護委員会において、午王山遺跡が和光市指定文化財保護条例に基づく文化財「史跡」として指定にふさわしいかどうかを諮問させていただきたいと思っているので、24 年度にご審議いただきたい。

<質疑・意見>

- ・午王山遺跡は、市内でも考古学的に見れば重要な遺跡である。
- ・考古学者によって、遺跡の重要度に関する位置づけは若干異なるかもしれないが、県内でも午王山遺跡の重要度はトップクラスであると思われる。市どころか、県の指定であってもおかしくない。
- ・弥生時代の環濠集落であり、他地域との交流が行われていたことがわかっている。

<結論>

平成 24 年度に正式な諮問の手続きを経て、文化財保護委員会で審議することとする。

(4) その他

■和光市指定文化財補助金交付要綱（案）について

<事務局から説明>

平成 23 年 3 月に和光市企画部政策課より補助・扶助事業に関する見直しの方向性において、和光市文化財保護条例に基づく市指定文化財管理（修理・復旧）費補助金については、補助率の設定を検討する旨が示された。

市指定文化財管理（修理・復旧）費補助金の補助率の設定については、文化財所有者への影響も少なくなく、文化財の保護において重要な事項であると考えられることから、和光市文化財保護条例第 5 条第 1 項に基づき、和光市文化財保護委員会に諮問したいと考えている。

平成 24 年度の会議で「和光市指定文化財補助金交付要綱（案）」について正式に諮問し、同年年度内で答申いただきたいと考えているので、ご審議をお願いしたい。

本日は資料のみの配布とするので、事前にご確認いただきたい。

<結論>

平成 24 年度に正式な諮問の手続きを経て、文化財保護委員会で審議することとする。

■副島副委員長から報告

浅久保の馬頭観音について報告したい。浅久保の馬頭観音について、敷地所有者の都合もあり、現在移転されている。川越街道の旧道沿いに立地する馬頭観音であり、できれば元の土地にあることが望ましいように思うが、取り急ぎ現状を報告したい。

<意見交換>

- ・ 川越街道沿いにあることが本来は望ましい。
 - ・ 志のある方が保管してくださっている状態である。所有者の負担になるようであれば、市で引き取ることなども検討すべきではないか。
- 【生涯学習課】現状を把握して、対応について考えたい。

6 閉会